

第3課

❖❖ 偶然会う ❖❖

スキット

退屈そうなサイダ。そこへのぞみは偶然、通りかかりました。のぞみは何やら急いでいる様子です—

Nozomi (N) : Ala! Hujambo ?

Saida (S) : Sijambo.

Mbona **una haraka** hivyo ?

N : **Namtafuta** Yuki, **umemwona** ?

S : Leo sijamwona.

Una haja naye gani ?

N : Jana niliazima kitabu chake, kwa hivyo nataka kumrudishia.

S : **Nitamwona** kesho, basi **lete**, nimrudishie.

N : Kweli ? Asante.

Kwa heri.

S : Kwa heri.

のぞみ (N) : ああ！ こんにちは、元気？

Aa! Konnichiwa, genki ?

サイダ (S) : こんにちは、元気だよ。

Konnichiwa, genkida yo.

そんなに急いでどうしたの？

Sonnani isoide doushita no ?

N : ユキを探しているんだけど、見なかった？

Yuki wo sagashiteirunda kedo, minakatta ?

S : 今日は会ってないよ。

Kyou wa attenai yo.

どうしたの？

Doushita no ?

N : 昨日日本を借りたから、それを返したいんだよね。

Kinou hon wo karita kara, sore wo kaeshitainda yo ne.

S : 明日会うから、貸して、返しておくよ。

Ashita au kara, kashite, kaeshiteoku yo.

N : 本当？ ありがとう。

Hontou ? Arigatou.

それじゃあ。

Sorejaa.

S : じゃあね。

Jaa ne.

解 説

第3課では、次の項目について学びます。

- ◆ [動詞シルシ形] スル・シタ式(2)
 - ◇ 人の目的語のシルシ
- ◆ [動詞シルシ形] (時ナシ動詞) ガアル表現
 - … 時ナシ動詞
- ◆ [動詞シルシ形] シテ・シロ式

❖ · ❖ · ❖

◆ [動詞シルシ形] スル・シタ式(2)

まずは少し、復習です。第2課で見た動詞シルシ形スル・シタ式は、主語のシルシ、時間のシルシ、動詞本体、これら3つから成っていましたね。

▽ [動詞シルシ形] スル・シタ式(1)

主語の シルシ	-	時間の シルシ	-	D	+	[動詞本体]	(- E)
------------	---	------------	---	---	---	--------	-------

そして、この課のスキットにはこのような形の語が出てきていました。これらも動詞シルシ形スル・シタ式です。ただし、主語のシルシと時間のシルシ、動詞本体以外に、もう一つ別のシルシが入っています。

namtafuta	umemwona
nitamwona	

‘namtafuta’を分解して見てみましょう。時間のシルシと動詞本体の間に‘-m-’が入っていますね。そしてこれが、〈彼女を〉という目的語を表わしています。これが目的語のシルシです。

○ ‘namtafuta’ < ‘ninamtafuta’ 〈私は彼女を探している〉

ni	-	na	-	m	+	[tafuta]
私は		(現在)		彼女を		探す

◇ 人の目的語のシルシ

目的語のシルシは、時間のシルシと動詞本体の間に入り、「～を」、「～に」という意味を表わします。

▽ [動詞シルシ形] スル・シタ式(2)

主語の シルシ	-	時間の シルシ	-	目的語の シルシ	+	[動詞本体]	(- E)
------------	---	------------	---	-------------	---	--------	-------

‘nitamwona’も分解してみましょう。このようになります。

○ ‘nitamwona’ 〈私は彼女に会うだろう〉

ni	-	ta	-	mw	+	[ona]
私は		(未来)		彼女に		会う

‘-m-’と‘-mw-’はどちらも3人称単数の目的語のシルシで、〈彼(女)を〉、〈彼(女)に〉を表わします。‘-mw-’で‘m’の後ろに‘w’が入るのは、後ろに続く動詞本体がここでの‘+ona’のように、母音始まりの場合です。

人の目的語のシルシはこのようになっています。

▽ 人の目的語のシルシ

[1 人称単数]	- ni -	(mimi)	〈私を—／に—〉
[1 人称複数]	- tu -	(sisi)	〈私たちを—／に—〉
[2 人称単数]	- ku -	(wewe)	〈あなたを—／に—〉
[2 人称複数]	- wa -	(nyinyi)	〈あなたたちを—／に—〉
[3 人称単数]	- m(w) -	(yeye)	〈彼(女) を—／に—〉
		(Saida)	〈サイダを—／に—〉
[3 人称複数]	- wa -	(wao)	〈彼(女)たちを—／に—〉
		(wazee)	〈親たちを—／に—〉

※ ‘mimi’, ‘sisi’ など()内の語は、文脈により明確な場合、言わないのが普通である。

例を見ておきましょう。

[1 人称単数]

Ali**ni**tazama (mimi). 〈彼(女)は**私**を見た。〉

[1 人称複数]

Ali**tu**tazama (sisi). 〈彼(女)は**私たち**を見た。〉

[2 人称単数]

Ali**ku**tazama (wewe). 〈彼(女)は**あなた**を見た。〉

[2 人称複数]

Ali**wa**tazama (nyinyi). 〈彼(女)は**あなたたち**を見た。〉

[3 人称単数]

Ali**m**tazama (yeye). 〈彼(女)は**彼(女)**を見た。〉

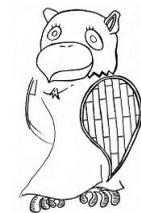
Ali**m**tazama (Saida). 〈彼(女)は**サイダ**を見た。〉

[3 人称複数]

Ali**w**atazama (wao). 〈彼(女)は**彼(女)たち**を見た。〉

Ali**w**atazama (wazee). 〈彼(女)は**親たち**を見た。〉
(‘+ tazama’ 〈見る〉)

❖ · · ❖ · · ❖



◆ [動詞シルシ形](時ナシ動詞) ガアル表現

では続いて、動詞シルシ形の時ナシ動詞のガアル表現について見ていきましょう。この第3課のスキットに、このような文が出てきましたね。

S : Mbona **una haraka** hivyo ? 〈そんなに急いでどうしたの?〉

S : **Una haja** naye gani ? 〈どうしたの?〉

‘una haraka’は〈あなたは急いでいる〉という表現で、文字通りは〈あなたは急ぎがある〉という意味です。また、‘una haja’は〈あなたは用事がある〉という意味です。‘una ~’が〈あなたは~がある〉という意味を表わしています。これがガアル表現です。

una haraka 〈あなたは急ぎがある〉

una haja 〈あなたは用事がある〉

ガアル表現は「~がある」と述べる言い方です。

[動詞シルシ形](時ナシ動詞)
ガアル表現
「~がある」

ガアル表現は、主語のシルシと時ナシ動詞の‘+ na’から成っています。

▽ [動詞シルシ形](時ナシ動詞) ガアル表現

主語の シルシ	+ na
------------	------

時間のシルシは入りません。よって、この‘+ na’のような動詞を時ナシ動詞と呼ぶのです。この形で表わされるのは「~がある」状況のみで、普通は現状が表わされることになります。

((例 1)) Nina njaa. 〈私はお腹が空いている。〉
(私は空腹がある。)
(‘njaa’〈空腹〉)

((例 2)) Tuna kiu. 〈私たちは喉が渇いている。〉
(私たちは喉の渇きがある。)
(‘kiu’〈喉の渇き〉)

ガアル表現で「~がない」状況を表わす場合は、主語のシルシを否定形に変えます。

▽ [動詞シルシ形](時ナシ動詞) ガアル表現(否定形)

主語の シルシ	+ na
------------	------

(否定形)

((例3)) Sina pesa. 〈私はお金がない。〉
(‘pesa’〈お金〉)

((例4)) Hatuna kazi. 〈私たちは仕事がない。〉
(‘kazi’〈仕事〉)



◆ [動詞シルシ形] シテ・シロ式

さあ、最後に動詞シルシ形のシテ・シロ式について見ておきましょう。シテ・シロ式は、「～して」、「～しろ」というように、相手に対して頼みや促しの意を伝える言い方です。

[動詞シルシ形]
シテ・シロ式
「～して」「～しろ」

シテ・シロ式の基本の形は簡単です。動詞本体を、そのまま単独で出せばよいのです。

▽ [動詞シルシ形] シテ・シロ式

+ [動詞本体]

例を見ておきましょう。

((例1)) Angalia. 〈見て／見ろ。〉
(‘+ angalia’〈見る〉)

((例2)) Sikiliza. 〈聞いて／聞け。〉
(‘+ sikiliza’〈聞く〉)

ただし、このシテ・シロ式の規則に当てはまらない例が3つだけあります。その1つがこの課のスキットでも登場した‘lete’〈持ってきて／持ってこい〉です。これは‘+ leta’〈持つてくる〉のシテ・シロ式です。残りの2つは、‘+ ja’〈来る〉と‘+ enda’〈行く〉のシテ・シロ式です。

- ‘+ leta’〈持つてくる〉のシテ・シロ式
Lete. 〈持ってきて／持ってこい。〉
- ‘+ ja’〈来る〉のシテ・シロ式
Njoo. 〈来て／来い。〉
- ‘+ enda’〈行く〉のシテ・シロ式
Nenda. 〈行って／行け。〉

不規則なこれら3つのシテ・シロ式は覚えてしまうしかありません。

